

1 学校教育目標

- 思いやりのある子 よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
- 考える子 様々な問題を解決するために、多様な考えをもてる子
- たくましい子 困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かって努力し続ける心と体をもつ子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力を身に付けられる学校 ○豊かな心を醸成できる学校 ○確かな学び、豊かな心を支える強く健やかな心と身体が育つ学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的、基本的な学力を身に付けた児童 ○進んで学習や運動に取り組む積極性をもった児童 ○思いやりの気持ちを持ち、人権を尊重する児童 ○学習、生活両面で発達段階に応じた「規範意識」をもった児童 ○進んで運動に親しみ、心身を鍛える健康な児童
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○教育に対して熱意あふれる教師 ○児童に対して愛あふれる教師 ○向上心をもって職務に取り組む教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

1 学校の現状

児童数273名 11クラス 87周年の伝統校である。

【児童】思いやりのある、素直で明るい児童が多く、学習や諸活動においては真面目に取り組む。落ち着いた態度で学校生活を送っている。運動会や学芸会等の学校行事で目標に向かって努力することで達成感を味わい、積極的に課題に取り組み、自己肯定感が高まりつつある。区学力調査の通過率は、目標の80%以上を達成した。

【教職員】学校長の経営方針を受け、教職員は意欲的で前向きに取り組んでおり、組織内の役割を確実に果たそうと努力している。また、小中連携・年次研修・校内OJT・教科指導専門員の指導などにより研修を積んでいる。

【保護者、地域】親子三代卒業生の家庭も多く、保護者・地域とも学校に協力的である。保護者・地域・開かれた学校づくり協議会の方々との連携事業を継続するとともに質の向上を図っている。学力向上や様々な取り組みに、学校の成果を評価し期待感も高まっている。

2 前年度の成果と課題

重点的な取組事項－1 学力向上(基礎的・基本的事項の定着、思考力・判断力・表現力の育成)

- 数値目標 平成31年4月実施 区学力調査結果 通過率80%以上
 - 実施結果 平成31年4月結果 通過率80.1%
- 正答率は、国語71.0%、算数73.9%であった。通過率は、国語79.1% 算数81.1%であった。

通過率は、目標の80%は達成することができた。ただ、年々正答率、通過率ともに値が下がってきている。特に、高学年になるにつれ伸び悩みの傾向がある。また、算数に比べ国語が下回っている。国語の力を児童に付けるために、授業では読解・漢字等の基礎的な内容を確実に身に付けさせるようにした。また、朝学習の時間で短作文、音読・視写、読書等を行った。さらに、金曜日6校時の梅一タイムで文章問題を中心に取り組んだ。算数では、引き続き3年生以上で習熟度別指導を行うとともに、全学年で単元テストにおいて目標値に到達しなかった児童を対象に放課後補習を行った。さらに、夏季休業中に10日間の補習を行った。

重点的な取組事項－2 教師の授業力向上(小・中連携、校内OJT、巡回指導等)

○数値目標：小中連携や校内OJT、巡回指導等による授業力向上 児童アンケート「授業が分かりやすい」90% 教員評価「授業力向上」90%

○実施結果：児童アンケート93.1% 教員評価85%

8回の小中連携(梅一・島根・十中)実施。教員一人一人が自己の課題を明確にし、板書計画及びノート指導の向上に意欲的に取り組み、足立スタンダードによる授業が定着できた。ただ、所属した分科会内での指導案検討、研究授業参観なので所属以外の研究には関われないことが課題である。

校内OJTは、年間18回実施した。教員が相互に学び合い、高め合う雰囲気醸成された。

教科指導専門員による巡回指導は、若手教員や教職経験年数の少ない教員を中心に行った。着実に足立スタンダードに基づいた授業は定着した。今後も指導を授業改善に生かしていく。

重点的な取組事項－3 心身の健康推進(保護者・地域等との連携)

○数値目標：生活習慣の改善 体力向上 いじめ・不登校、見逃しゼロ 学校事故未然防止の達成率85~100%

○実施結果：概ね良好

生活面の児童アンケートでは、「挨拶」83.4%「言葉遣い」73.4%「早寝、早起き、朝ごはん」76%であった。また、体育では92.4%の児童が「授業に楽しく取り組めた」と答え、83.6%の児童が体力向上を実感できた。ただ、投力や跳躍力、柔軟性などに課題がある。体育の準備運動の時間などで継続して取り組んでいく。健康教育では、特に歯磨き指導等の成果として、6年連続して「東京都学校歯科保健優良校」を受賞した。

「いじめの早期発見と適切な対応、不登校の対応や見逃しゼロへの取り組み」は教員評価でおおむね良好であった(達成率85%)。100%に近づけるよう取り組む。学校事故の未然防止に向けて児童への安全指導、教員による安全点検を確実にやっていく。

保護者・地域との連携では、保護者・地域の方が学校行事等(学校公開3回 土曜公開10回 学年行事6回 運動会・学芸会等)へ参加していただくことで教育活動に対する御理解が得られた。また、開かれた学校づくり協議会や保護者の皆様の御協力のもと、芝生グリーンプロジェクト、芝生の上の映画会、親子ふれあい華道教室、親子盆踊り体験等を実施することができた。これらの豊かな体験的活動により児童の心の成長を図ることができた。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間(年度) H:平成 R:令和				
		H30	R1	R2	R3	R4
1	学力向上(基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の育成)	○	○	○		
2	教師の授業力向上(校内OJT、巡回指導等)	○	○	○		
3	心身の健康推進(保護者・地域等との連携)	○	○	○		

5 令和2年度の重点目標

重点的な取組事項－1	学力向上(基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の育成)
------------	-----------------------------------

A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
学力向上（基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の育成）		4月区調査 80% 到達度確認テスト 85%		区調査（7月実施）85% 到達度確認テスト 84%		<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査7月実施。目標を大きく上回った。到達度確認テストはほぼ目標を達成した。引き続き学力向上に向けた取り組みを推進する。 ・学習の定着状況と具体的な取り組みは6（1）を参照。 		○	
B 目標実現に向けた取り組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	梅一タイム	国語	毎週金曜日6校時	<ul style="list-style-type: none"> ・担任 ・文章力・読解力向上 	文章問題テスト	文章問題テスト正答率80%が8割	達成目標はおおむねクリアできた。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章内容の理解に向けて今後も継続していくことで文章読解力の向上を図る。 	○
2 継続	放課後補習教室	算数	放課後、週2回平均	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員、地域ボランティア ・単元の学習内容の定着を図る。苦手な問題を中心に学習する。 	時間内に行う問題の正答率	全問正解。（間違いは直せば正解とする）	12月末まで23回実施した。1月からは緊急事態宣言を受けて中止した。達成目標はおおむねクリアできた。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童の苦手な領域の克服に有効であった。 ・コロナ禍の中で実施回数は例年より減った。 ・日時を決めて全教員で取り組んだことで効果が上がった。 	○
3 継続	話し合い活動の充実	国語科を中心とし、教育活動全般	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・担任 ・各学年の話し合い活動のねらいを明確にして取り組む。 	教員は授業中の観察、児童はアンケート調査	各学年のねらいの達成率60%	「できた」と回答した教員77%であった。児童アンケート「授業中、自分の考えや意見を発表した」67.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は子供が自分の考えを互いに発表し合うことで考えを深める活動にも重点を置く。 	○

4 継続	思考力・判断力・表現力を伸ばす授業	主に国語算数社会理科を中心とし、教育活動全般	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・担任 ・知識・技能の活用を図る学習活動を月1回は取り入れる。 ・自分の考えを書く活動を週2回は行う。 ・主に国語で文章の要約を月1回行う。 	児童の作品やノートなどから見とる。	教員の自己評価で各活動の達成率 80%	「よくできた」と回答した教員 23% 「できた」と回答した教員 62%であった。	・児童の思考力・判断力・表現力を伸ばすため今後も具体的な取り組みを継続していく。	○
5 新規	形成的評価のためのテスト	算数	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・担任 ・算数の授業の終わりにミニテストを行い、児童の定着度を把握する。 	授業時間内にミニテストを行う。	教員の自己評価で達成率 80%	「よくできた」「できた」と回答した教員 55%	・ミニテストを引き続き授業内で行うよう働きかける。	△
6 新規	I C T 機器の活用	各教科	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・担任、専科 ・各教科の授業で I C T 機器を活用する。 	週1回は I C T 機器を活用した授業を行う。	教員の自己評価で達成率 80%	「よくできた」「できた」と回答した教員 100%	・ I C T 機器の活用はほぼできた。今後はより効果的な活用方法の研修を行う。	◎
7 継続	漢字検定	国語	1月検定日＋練習日5回	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職、開かれの会担当者、保護者ボランティア等 ・漢字の読み書き能力の向上、漢字に対する興味・関心の醸成 	漢字検定	受験者全体の 85%以上合格	93名が受検 受検者の合格率 95.7%であった。	・1月は漢字検定チャレンジ教室が実施できなかったが、合格率は目標を大きく上回った。	◎
8 継続	家庭学習	国語算数等	毎日	<ul style="list-style-type: none"> ・担任 ・学習内容の定着と学習習慣をつける。宿題未提出者はその日のうちに学校で宿題を終了させる。 	児童アンケート	児童アンケート「家庭学習を忘れずにできた」85%	児童アンケート「家庭学習を忘れずにできた」80.8%	・忘れてしまう子へ繰り返し、粘り強く指導していくとともに家庭の協力を引き続き求める。	△

重点的な取組事項－2		教師の授業力向上（校内OJT、巡回指導等）			
A	今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度

教師の授業力向上 (校内OJT、巡回指導等)	児童アンケート 「授業が分かりやすい」90%	・教員評価「校内OJTを自己の職務に生かした」で「よくできた」「できた」と回答した教員100% ・児童アンケート 「授業が分かりやすい」91.6%	校内OJTは年間19回実施した。教員が相互に学び合う雰囲気が醸成できた。	○	
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
教師の授業力向上	足立スタンダード100% 児童アンケート 「授業が分かりやすい」90%	・足立スタンダードの徹底 ・学習規律の徹底 ・授業観察、巡回指導等	・教員評価「足立スタンダードを基にした授業」92% ・児童アンケート 「授業が分かりやすい」91.6%	・教科指導専門員の巡回指導が授業力向上に有効であった。	○
校内OJTの推進	教員評価「校内OJTによる授業力向上」90%	・校内OJT計画に基づき研修会を実施	・教員評価「よくできた」「できた」と回答した教員100%	・受講者だけでなく指導者も講義を行うことで学びが深まった。	◎
区小研等学校外の研究会参加	区小研参加100% 区内外の研究会参加2回以上	・区小研参加 ・区内外の研究会参加 ・各種研修会参加	・教員評価 「区小研に毎回参加、区内外の研究会2回以上参加」で「よくできた」「できた」と回答した教員81%	・コロナ禍の中、区外の研究会は中止が多く、指導力向上に生かせなかった。	○

重点的な取組事項－3		心と体の健康推進（保護者・地域等との連携）			
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
保護者・地域と連携し、健康で明るく生活できる児童の育成 健康教育・安全教育の推進を図り、安心・安全な学校づくり	生活習慣の確立・体力向上 いじめ・不登校 見逃しゼロ 学校事故未然防止	・教員評価 「いじめの早期発見と適切な対応、不登校の対応や見逃しゼロへの取り組み」で「よくできた・できた」100%	「いじめ・不登校・見逃しゼロ」は、概ね達成できた。児童の生活習慣は、引き続き指導を要する。	○	
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
道徳の時間の確保と質的改善 道徳教育の充実	教員評価 「道徳の授業で自分の考えをもつことができる児童」85%	・道徳授業の時数確保と改善 ・人権標語づくり ・ありがとうカード	・教員評価 「道徳の授業で自分の考えをもつことができる児童が85%以上となったか」で「よくできた」と回答した教員45%、「できた」と回答した教員36%であった。	・今後も児童が自分の考えを積極的に発言し、意見交換からさらに考えを深めていく授業を目指す。	○

学校図書館基本計画の実施	教員評価 「学年目標を達成できた」90%	・各学年の目標を設定し、達成を目指し、取り組む。	・教員評価 「よくできた」33%、「できた」44%であった。	・休校期間があったが、おおむね達成できた。	○
体力向上	児童アンケート 「体育の授業に楽しく取り組めた」90% 「体力が向上した」85%	・体育授業の改善 ・投力・跳躍力・柔軟性を高める取組 ・学習カードの活用 ・beyond2020 マイベストプログラムの活用 ・業間運動の実施	・児童アンケート 「体育の授業に楽しく取り組めた」92.3% 「体力が向上した」87.1%	・運動制限がある中での体育の授業ではあったが、児童は意欲的に取り組むことができた。 ・全身運動である水泳の授業が行えず、残念であった。次年度は実施できることを願う。	◎
生活リズムの定着	児童アンケート 「早寝・早起き・朝ご飯」「あいさつ」「ていねいな言葉づかい」80%	・家庭と連携した生活リズムの定着 ・生活リズムカードの活用年間3回 ・食育の指導 ・あいさつの指導	・児童アンケート ① 早寝・早起き・朝ご飯 74.9% ② あいさつ 84.1% ③ ていねいな言葉づかい 74.1% あいさつ以外は目標に今一步届かなかった。引き続き家庭の協力を求め、数値向上を目指す。	・あいさつ当番は、飛沫拡散防止のため実施できなかった。 ・時と場に応じた言葉づかいができるようにしていく。 ・家庭への協力を求める。	△
安心・安全な学校生活の推進	教員評価 「いじめ・不登校の早期発見、見逃しゼロ」100%	・常に児童の様子に注意する。 ・問題には即対応する。 ・アンケートの丁寧な聞き取り ・SOSの出し方教室の開催 ・安全指導の完全実施 ・安全点検の完全実施	・教員評価 「よくできた」38%、「できた」62%であった。	・いじめなどの問題行動は、早期発見・対応が重要である。教員の見逃しゼロの取り組みにより、大きなトラブルは起きていない。	◎
保護者・地域との連携	教員評価 「保護者・地域との連携」90%	・開かれた学校づくり協議会との連携事業 ・地域講師の活用	・教員評価 「よくできた」55%、「できた」45%であった。	・「親子ふれあい華道教室」「漢字検定チャレンジ教室」「書道教室」は実施できた。ただ、中止となったものも多く、改めて保護者・地域との連携の大切さを実感した。	◎

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

ア 学力向上アクションプランについて

7月に行った足立区学力調査の通過率は目標の80%を大きく上回る85%であった。これは、前述の学力向上アクションプランの取り組みの成果であるが、課題もある。課題と対策は次のとおりである。

【課題】・全体的な課題として国語では説明的文章及び文学的文章の内容理解、心情の理解や書く力、算数では平面図形、体積、式による表現、計算が挙

げられる。

- ・ 5年生算数においては、通過率が55.6%であり、学習の定着状況に課題がある。ほとんどの領域が区の平均を下回っている。

【対策】・国語では発問に対して自分の考えを書く活動に重点を置く。そして、子供が互いの考えを発表し合うことで自分の考えを深められる授業を展開する（今年度の児童アンケートで「自分の考えや意見を発表した」は67%であり、今一步であった）。また、金曜日6校時を梅一タイムとして全学年で文章問題テストに取り組み、読解力向上を図る。

- ・算数では、毎時間の授業の終末にミニテストを行うことに重点を置く（今年度の教員自己評価で「授業時間内にミニテストを行う」は55%に留まった）。このテストにより教員は個々の児童の学習内容の定着度を把握し、必要に応じて個別指導を行う。また、単元のまとめのテストで目標値に到達しなかった児童を対象に放課後補習教室を行い、全教職員で指導にあたる。さらに夏季休業前に東京ベーシックドリルに取り組みせ、個々の児童の苦手な領域を把握し、夏季学習教室（サマースクール）で指導する（今年度は未実施）。

【2月の到達度確認テスト】学校全体の通過率は84%であった。5年生算数の通過率は86.4%となり、大きく向上した。次年度も上記の【対策】に取り組む。

【その他 ICT機器の活用】ICT機器については、授業で積極的に活用する。今年度は、全教職員が週1回はICT機器を授業で活用することができた。次年度は、より効果的に活用していくため、ICT機器の活用方法の研修会を計画的に行うとともに実際に活用している教員の授業を参観して学び合っていく。

（2）保護者や地域へのメッセージ

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に御協力・御支援いただき心より感謝申し上げます。本校の子供たちは、生活指導上のトラブルがほとんどありません。授業中の態度もよく集中して学習に取り組んでいます。また、学校行事などでは自分の目標をもち、それに向かって一生懸命取り組みます。これらのことは、ひとえに学校に対する家庭や地域の皆様の御協力の賜です。今後も引き続き子供たちの健全育成に向けて、「早寝・早起き・朝ご飯」や「家庭学習の取り組み」、「親子読書」等への御協力をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

（3）その他（学校教育活動全般について）

開かれた学校づくり協議会や保護者の皆様、地域の皆様の御協力のもと、芝生グリーンプロジェクト、親子ふれあい華道教室、漢字検定チャレンジ教室などを実施することができました。これらの豊かな体験的活動により子供たちの心の成長が図られています。深く感謝申し上げます。次年度は、今年度中止となった芝生の上の映画会、親子盆踊り体験が実施できることを切に願います。今後も開かれた学校づくり協議会や保護者の皆様、地域の皆様の温かな御協力・御支援をよろしくをお願いいたします